

**製品名: グランザイム B ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21246**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間、
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:28kD;Observed MW:37kD

**抗原情報**

遺伝子名	GZMB
別名	Granzyme B;C11;CTLA-1;Cathepsin G-like 1;CTSGL1;Cytotoxic T-lymphocyte proteinase 2;Lymphocyte protease;Fragmentin-2;Granzyme-2;Human lymphocyte protein;HLP;SECT;T-cell serine protease 1-3E;
遺伝子 ID	3002.0
SwissProt ID	P10144
免疫原	ヒトグランザイム B の合成ペプチド

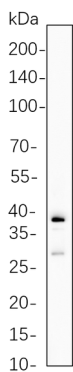
## 背景

細胞局在: リソソーム。この遺伝子は、セリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファミリーに属するグランザイムサブファミリータンパク質をコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、ナチュラルキラー（NK）細胞および細胞傷害性Tリンパ球（CTL）によって分泌され、タンパク質分解によって活性プロテアーゼが生成され、標的細胞のアポトーシスを誘導します。このタンパク質はサイトカインの処理や細胞外マトリックスタンパク質の分解にも関与しており、これらの役割は慢性炎症および創傷治癒に関与しています。この遺伝子の発現は、心臓線維症の患者において亢進している可能性があります。[RefSeq 提供、2016年9月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Karpas-299 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを Granzyme B ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。